

## アジア・ハイ・イールド債券 ファンド（毎月分配型） 成長通貨コース

### ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2011年11月14日から2021年8月10日まで	
運用方針	<p>①主として日本を除くアジア（オセアニアを含む）のハイ・イールド債券（米ドル建て等）を実質的な主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。</p> <p>②当ファンドは、原則、相対的に金利水準が高く、成長性が高いと考えられる6通貨の為替取引を行い、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）の獲得を目指します。</p>	
主要投資対象	アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型）成長通貨コース	投資信託証券
	日興アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス3)	アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等
	日興アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス4)	アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等
主な組入制限	アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型）成長通貨コース	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 デリバティブの直接利用は行いません。 株式への直接投資は行いません。
	日興アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス3)	有価証券の空売りは行いません。 純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 投資信託証券への投資は行いません。
	日興アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス4)	有価証券の空売りは行いません。 純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 投資信託証券への投資は行いません。
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p>	

第82期（決算日 2018年9月10日）  
 第83期（決算日 2018年10月10日）  
 第84期（決算日 2018年11月12日）  
 第85期（決算日 2018年12月10日）  
 第86期（決算日 2019年1月10日）  
 第87期（決算日 2019年2月12日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、「アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型）成長通貨コース」は、このたび第87期の決算を行いましたので、第82期～第87期中の運用状況をご報告申し上げます。  
 今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<https://www.sjnk-am.co.jp/>

お問い合わせ先



クライアントサービス第二部 0120-69-5432  
 （受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の正式名称については後掲「■主要投資対象の投資信託証券の概要」をご覧ください。

## ○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 総 額	
		税 分	込 配	み 期 金 騰 円 落			中 率
	円		金		%	百万円	
58期(2016年9月12日)	6,272		80		0.1	97.0	1,244
59期(2016年10月11日)	6,346		80		2.5	98.3	1,239
60期(2016年11月10日)	6,295		80		0.5	96.8	1,160
61期(2016年12月12日)	6,658		80		7.0	97.1	1,196
62期(2017年1月10日)	6,676		80		1.5	98.8	1,109
63期(2017年2月10日)	6,617		80		0.3	96.6	1,100
64期(2017年3月10日)	6,627		80		1.4	98.1	1,084
65期(2017年4月10日)	6,440		80		△1.6	98.3	1,031
66期(2017年5月10日)	6,622		80		4.1	98.0	1,039
67期(2017年6月12日)	6,421		80		△1.8	98.0	985
68期(2017年7月10日)	6,471		80		2.0	98.6	986
69期(2017年8月10日)	6,473		60		1.0	97.6	971
70期(2017年9月11日)	6,425		60		0.2	97.3	939
71期(2017年10月10日)	6,412		60		0.7	97.1	916
72期(2017年11月10日)	6,378		60		0.4	96.8	878
73期(2017年12月11日)	6,344		60		0.4	97.4	833
74期(2018年1月10日)	6,488		60		3.2	95.7	842
75期(2018年2月13日)	6,174		60		△3.9	97.0	787
76期(2018年3月12日)	6,057		60		△0.9	96.6	755
77期(2018年4月10日)	5,867		60		△2.1	98.2	717
78期(2018年5月10日)	5,641		60		△2.8	98.2	674
79期(2018年6月11日)	5,434		60		△2.6	96.9	628
80期(2018年7月10日)	5,226		60		△2.7	98.2	582
81期(2018年8月10日)	5,179		60		0.2	97.2	568
82期(2018年9月10日)	4,760		60		△6.9	98.4	512
83期(2018年10月10日)	4,906		60		4.3	97.1	526
84期(2018年11月12日)	5,049		60		4.1	97.7	537
85期(2018年12月10日)	5,045		60		1.1	96.7	526
86期(2019年1月10日)	4,886		60		△2.0	97.3	484
87期(2019年2月12日)	5,057		60		4.7	97.0	495

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万円当たり（以下同じ）。

(注3) 投資信託証券組入比率は日興 アジア・ハイ・イールド・債券・ファンドの組入比率。

(注4) 当ファンドは、日興 アジア・ハイ・イールド・債券・ファンドへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、当該投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 券 率
			騰 落 率	組 入 比	
第82期	(期 首) 2018年8月10日	円 5,179	% —	% 97.2	
	8月末	4,836	△6.6	98.4	
	(期 末) 2018年9月10日	4,820	△6.9	98.4	
第83期	(期 首) 2018年9月10日	4,760	—	98.4	
	9月末	5,011	5.3	97.3	
	(期 末) 2018年10月10日	4,966	4.3	97.1	
第84期	(期 首) 2018年10月10日	4,906	—	97.1	
	10月末	4,987	1.7	97.2	
	(期 末) 2018年11月12日	5,109	4.1	97.7	
第85期	(期 首) 2018年11月12日	5,049	—	97.7	
	11月末	5,166	2.3	97.0	
	(期 末) 2018年12月10日	5,105	1.1	96.7	
第86期	(期 首) 2018年12月10日	5,045	—	96.7	
	12月末	4,943	△2.0	97.3	
	(期 末) 2019年1月10日	4,946	△2.0	97.3	
第87期	(期 首) 2019年1月10日	4,886	—	97.3	
	1月末	5,079	4.0	97.2	
	(期 末) 2019年2月12日	5,117	4.7	97.0	

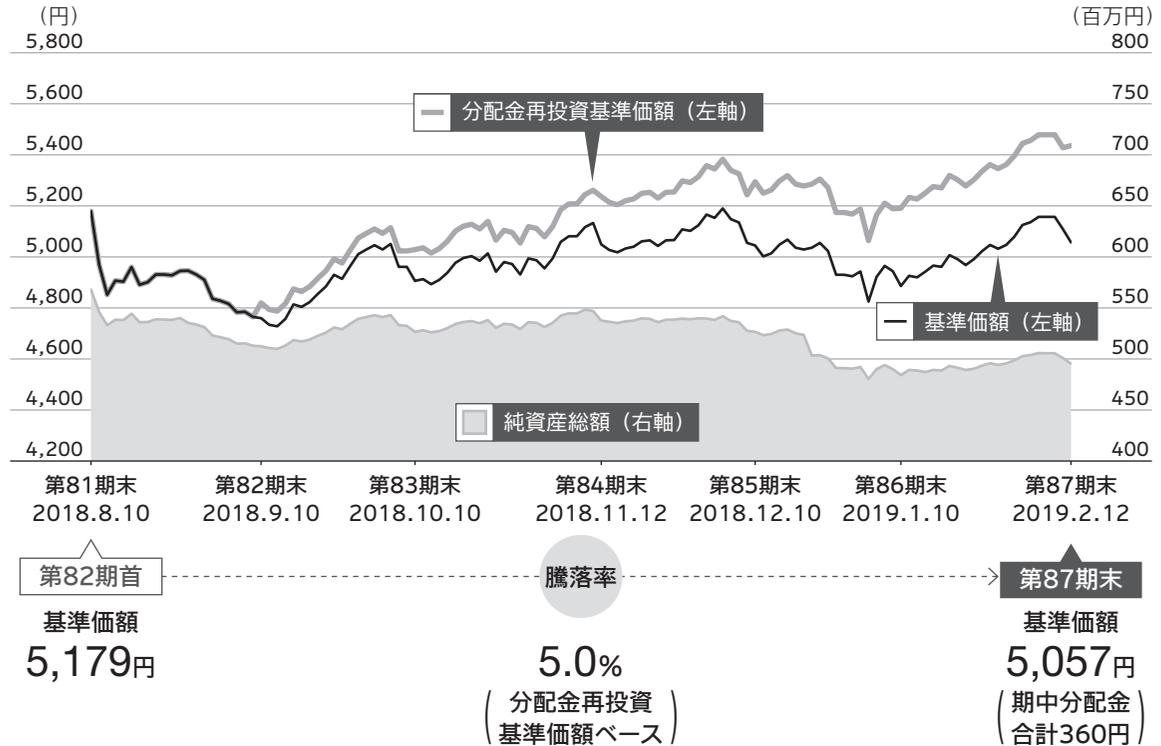
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 投資信託証券組入比率は日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンドの組入比率。

(注3) 当ファンドは、日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンドへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、当該投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## 運用経過

## ● 基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2018年8月10日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンドへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、当該投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## ● 基準価額の主な変動要因

### 🏦 アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型） 成長通貨コース

主要投資対象である「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」および「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」は、債券部分、為替部分ともにプラスに寄与し、分配金再投資基準価額の騰落率はプラスとなりました。

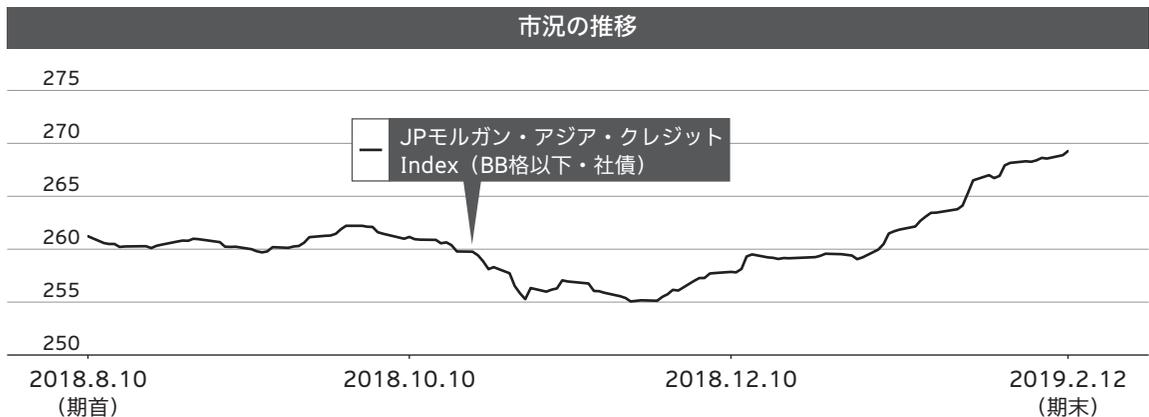
- 本報告書では、ベビーファンドとファンド・オブ・ファンズを下記の様に統一して表記しています。

🏦 ベビーファンド    🏦 ファンド・オブ・ファンズ

## ● 投資環境

当期のアジア・ハイ・イールド債券市場は上昇しました。

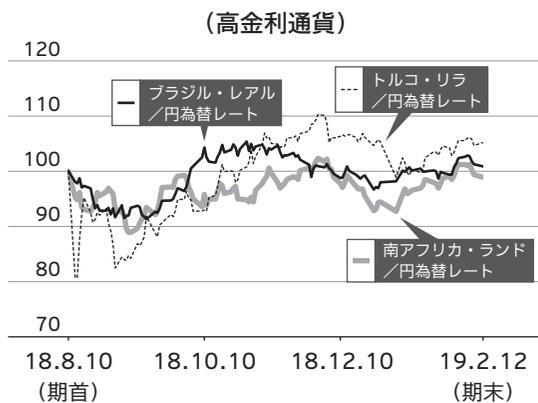
期初は狭いボックス圏で揉み合いの展開が続きましたが、2018年10月に入ると、米中貿易摩擦による業績悪化懸念や原油安を背景に株式市場が下落する中、クレジットスプレッドが拡大したことからアジア・ハイ・イールド債券市場は下落しました。2019年年明け以降は、米中通商協議の進展期待の高まりや原油価格の上昇等を背景に主要株式市場が回復基調となったことから、クレジットスプレッドが縮小する形でアジア・ハイ・イールド債券市場は上昇に転じました。



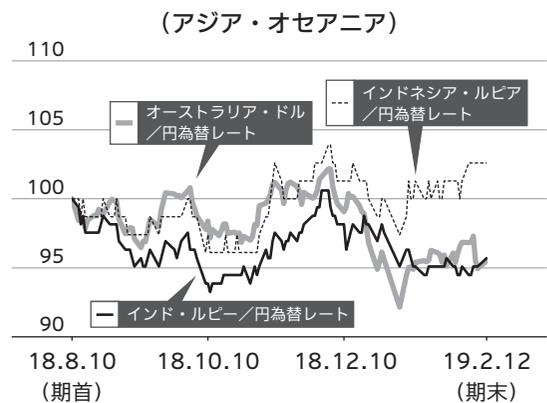
(出所：Bloomberg)

当期の為替市場は、FRB（米連邦準備理事会）が追加利上げに対して慎重な姿勢を示したことを受けて、2018年末にかけて急速に円高ドル安が進みました。アジア通貨については、年末にかけて円高ドル安が進む中、インドルピーとオーストラリアドルは対円で下落する展開となりました。インドネシアルピアは、11月にインドネシア中央銀行が追加利上げを決定したこと等を受けて相対的に堅調に推移しました。高金利通貨については、前期の大幅な下落から戻り基調となったことから、ブラジルレアルやトルコリラを中心に堅調な推移となりました。

### 為替レートの推移



出所：（ブラジルレアル・トルコリラ）投資信託協会  
（南アフリカランド）Bloomberg



（出所：Bloomberg）

注1．為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

注2．為替レートは期首を100として指数化しております。

## ● 当該投資信託のポートフォリオ

期を通じて、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」および「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」の投資比率を概ね均等に維持しました。

### 日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）

アジア・ハイ・イールド債券利回りが小幅上昇（価格は下落）した一方、クーポン収入等が貢献し、債券部分はプラスに寄与しました。

トルコリラ、ブラジルレアルが対円で上昇したことから、為替部分はプラスに寄与しました。

### 日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）

アジア・ハイ・イールド債券利回りが小幅上昇（価格は下落）した一方、クーポン収入等が貢献し、債券部分はプラスに寄与しました。

インドネシアルピアが堅調に推移した一方、インドルピー、オーストラリアドルが対円で下落したことから、為替部分はマイナスに寄与しました。

## ● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンドへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、当該投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## ● 分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、合計360円の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

## 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期
	2018.8.11 } 2018.9.10	2018.9.11 } 2018.10.10	2018.10.11 } 2018.11.12	2018.11.13 } 2018.12.10	2018.12.11 } 2019.1.10	2019.1.11 } 2019.2.12
当期分配金	60	60	60	60	60	60
（対基準価額比率）	1.245%	1.208%	1.174%	1.175%	1.213%	1.173%
当期の収益	60	60	60	60	60	60
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	7,424	7,443	7,461	7,478	7,495	7,515

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

注4. 投資信託特有の会計処理により、「翌期繰越分配対象額」が基準価額を上回っている場合がありますが、実際に基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

### 決算期毎にインカム収入<sup>※</sup>を中心に分配を行うことを目指すファンドです。

※ インカム収入とは、債券の利子収入、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）収入等をいいます。

- ・ ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。
- ・ 投資対象資産や為替の値動き等により基準価額が下落した場合でも、原則として、インカム収入相当については、分配を行います。

## ● 今後の運用方針

### アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型） 成長通貨コース

今後も、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」および「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」の投資比率を概ね均等に保つことにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

## 日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド

FRBが今後の金融引締めに対して慎重な姿勢を示していることから、クレジットスプレッドは当面縮小傾向で推移する見込みです。一方で、2019年も米国経済が堅調に推移した場合には、FRBがさらなる金融引締めを行うことも考えられることから、今後の経済動向を注視する必要があります。米国の追加利上げ観測の後退に伴って新興国市場への資金回帰の動きが広がっています。アジア各国の経済基盤は引き続き堅調で、企業の財務基盤も健全な状況にあることから、中長期的にはアジア・ハイ・イールド債券市場は底堅い推移を予想しています。

### ● 1万口当たりの費用明細

期中の1万口当たりの費用の割合は **0.508%** です。

項目	第82期～第87期 2018.8.11～2019.2.12		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	25円	0.506%	(a) 信託報酬 = 各期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は5,003円です。
(投信会社)	(10)	(0.193)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(15)	(0.297)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用 = $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
<b>合計</b>	<b>25</b>	<b>0.508</b>	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

注4. 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

## ○売買及び取引の状況

(2018年8月11日～2019年2月12日)

## 投資信託証券

銘柄		第82期～第87期			
		買		付	
		口数	金額	口数	金額
国内	NikkoAM Asia Investment Series-NikkoAM AsiaHighYieldBondFund III	—	—	105,053	20,000
	NikkoAM Asia Investment Series-NikkoAM AsiaHighYieldBondFund IV	—	—	78,437	27,000
	合計	—	—	183,491	47,000

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年8月11日～2019年2月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2019年2月12日現在)

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	第81期末	第87期末		
		口数	口数	評価額
		口数	口数	評価額
NikkoAM Asia Investment Series-NikkoAM AsiaHighYieldBondFund III	1,372,844	1,267,790	238,714	48.2
NikkoAM Asia Investment Series-NikkoAM AsiaHighYieldBondFund IV	794,642	716,204	241,880	48.8
合計	2,167,487	1,983,995	480,595	97.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2019年2月12日現在)

項目	第87期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	480,595	95.7
コール・ローン等、その他	21,836	4.3
投資信託財産総額	502,431	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第82期末	第83期末	第84期末	第85期末	第86期末	第87期末
	2018年9月10日現在	2018年10月10日現在	2018年11月12日現在	2018年12月10日現在	2019年1月10日現在	2019年2月12日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	520,969,257	534,818,154	548,263,073	533,821,135	493,048,930	502,431,073
コール・ローン等	16,569,759	23,393,487	23,265,843	24,787,623	21,703,404	21,835,304
投資信託受益証券(評価額)	504,399,498	511,424,667	524,997,230	509,033,512	471,345,526	480,595,769
(B) 負債	8,509,335	8,227,181	10,667,852	7,187,113	8,844,783	7,026,450
未払収益分配金	6,458,918	6,439,524	6,388,950	6,262,693	5,945,914	5,877,494
未払解約金	1,597,471	1,355,648	3,795,645	512,788	2,473,205	702,813
未払信託報酬	451,247	430,852	481,039	409,407	424,113	444,635
未払利息	—	66	—	66	63	56
その他未払費用	1,699	1,091	2,218	2,159	1,488	1,452
(C) 純資産総額(A-B)	512,459,922	526,590,973	537,595,221	526,634,022	484,204,147	495,404,623
元本	1,076,486,408	1,073,254,090	1,064,825,156	1,043,782,200	990,985,794	979,582,447
次期繰越損益金	△ 564,026,486	△ 546,663,117	△ 527,229,935	△ 517,148,178	△506,781,647	△484,177,824
(D) 受益権総口数	1,076,486,408口	1,073,254,090口	1,064,825,156口	1,043,782,200口	990,985,794口	979,582,447口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,760円	4,906円	5,049円	5,045円	4,886円	5,057円

(注1) 当作成期間（第82期～87期）における期首元本額1,096,754,348円、期中追加設定元本額20,292,693円、期中一部解約元本額137,464,594円

(注2) 期末における1口当たりの純資産総額

第82期0.4760円、第83期0.4906円、第84期0.5049円、第85期0.5045円、第86期0.4886円、第87期0.5057円

(注3) 期末における元本の欠損金額

第82期564,026,486円、第83期546,663,117円、第84期527,229,935円、第85期517,148,178円、第86期506,781,647円、第87期484,177,824円

○損益の状況

項 目	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期
	2018年8月11日～ 2018年9月10日	2018年9月11日～ 2018年10月10日	2018年10月11日～ 2018年11月12日	2018年11月13日～ 2018年12月10日	2018年12月11日～ 2019年1月10日	2019年1月11日～ 2019年2月12日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	8,666,057	8,587,274	8,532,303	8,372,570	8,024,975	7,924,968
受取配当金	8,666,847	8,588,228	8,532,814	8,373,124	8,026,092	7,925,798
受取利息	9	—	—	—	—	—
支払利息	△ 799	△ 954	△ 511	△ 554	△ 1,117	△ 830
(B) 有価証券売買損益	640,621	13,926,884	13,460,448	△ 2,074,501	△ 17,504,134	15,143,013
売買益	636,338	15,987,133	13,573,545	315,067	212,808	15,249,871
売買損	4,283	△ 2,060,249	△ 113,097	△ 2,389,568	△ 17,716,942	△ 106,858
(C) 信託報酬等	△ 452,889	△ 431,943	△ 483,122	△ 411,069	△ 425,499	△ 446,087
(D) 当期損益金 (A+B+C)	8,853,789	22,082,215	21,509,629	5,887,000	△ 9,904,658	22,621,894
(E) 前期繰越損益金	△510,141,243	△504,312,559	△483,628,282	△458,005,814	△432,952,296	△442,357,265
(F) 追加信託差損益金	△ 56,280,114	△ 57,993,249	△ 58,722,332	△ 58,766,671	△ 57,978,779	△ 58,564,959
(配当等相当額)	( 600,728,341)	( 599,667,192)	( 595,441,992)	( 584,189,104)	( 555,563,184)	( 549,696,679)
(売買損益相当額)	(△657,008,455)	(△657,660,441)	(△654,164,324)	(△642,955,775)	(△613,541,963)	(△608,261,638)
(G) 計 (D+E+F)	△557,567,568	△540,223,593	△520,840,985	△510,885,485	△500,835,733	△478,300,330
(H) 収益分配金	△ 6,458,918	△ 6,439,524	△ 6,388,950	△ 6,262,693	△ 5,945,914	△ 5,877,494
次期繰越損益金 (G+H)	△564,026,486	△546,663,117	△527,229,935	△517,148,178	△506,781,647	△484,177,824
追加信託差損益金	△ 56,280,114	△ 57,993,249	△ 58,722,332	△ 58,766,671	△ 57,978,779	△ 58,564,959
(配当等相当額)	( 600,728,341)	( 599,667,192)	( 595,441,992)	( 584,189,104)	( 555,563,184)	( 549,696,679)
(売買損益相当額)	(△657,008,455)	(△657,660,441)	(△654,164,324)	(△642,955,775)	(△613,541,963)	(△608,261,638)
分配準備積立金	196,755,060	199,163,517	199,086,151	196,371,691	187,253,180	186,486,957
繰越損益金	△704,501,432	△687,833,385	△667,593,754	△654,753,198	△636,056,048	△612,099,822

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程 (2018年8月11日～2019年2月12日) は以下の通りです。

項 目	2018年8月11日～ 2018年9月10日	2018年9月11日～ 2018年10月10日	2018年10月11日～ 2018年11月12日	2018年11月13日～ 2018年12月10日	2018年12月11日～ 2019年1月10日	2019年1月11日～ 2019年2月12日
a. 配当等収益 (費用控除後)	8,213,168円	8,422,531円	8,344,852円	7,961,501円	7,599,476円	7,771,737円
b. 有価証券等損益額 (費用控除後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に規定する収益調整金	600,728,341円	599,667,192円	595,441,992円	584,189,104円	555,563,184円	549,696,679円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	196,755,060円	197,180,510円	197,130,249円	194,672,883円	185,599,618円	184,592,714円
e. 分配対象収益 (a+b+c+d)	805,696,569円	805,270,233円	800,917,093円	786,823,488円	748,762,278円	742,061,130円
f. 分配対象収益 (1万口当たり)	7,485円	7,503円	7,521円	7,538円	7,555円	7,575円
g. 分配金	6,458,918円	6,439,524円	6,388,950円	6,262,693円	5,945,914円	5,877,494円
h. 分配金 (1万口当たり)	60円	60円	60円	60円	60円	60円

## ○分配金のお知らせ

	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期
1 万口当たり分配金（税込み）	60円	60円	60円	60円	60円	60円

## &lt;分配金をお支払いする場合&gt;

・分配金は、原則として各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しています。

## &lt;分配金を再投資する場合&gt;

・お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資しています。

## &lt;課税上の取扱いについて&gt;

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本と同額の場合または個別元本を上回っている場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、収益分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人の受益者に対する課税  
 税率は普通分配金について、20.315%（所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに地方税5%）です。

※上記は源泉徴収時の税率であり、税率は課税方法等により異なる場合があります。

※少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が5年間非課税となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※法人の受益者に対する課税は、税率が異なります。

※上記内容は、税法が改正された場合等には変更になることがあります。

※課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家または税務署等にご確認ください。

<参考情報>組入れ投資信託証券の内容

■主要投資対象の投資信託証券の概要

名称	<p>■日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3） （Nikko AM Asia Limited Investment Series-Nikko AMアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3））</p> <p>■日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4） （Nikko AM Asia Limited Investment Series-Nikko AMアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4））</p>	
形態	ケイマン籍外国投資信託（円建て）	
運用の基本方針	<p>①主として、アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等に投資します。</p> <p>②原則として以下の通貨で為替取引（対米ドル等）を行います。</p>	
	高金利通貨 アジア・オセアニア	クラス3 クラス4
主な投資制限	<p>①有価証券の空売りは行いません。</p> <p>②純資産総額の10%を超える借入れを行いません。</p> <p>③投資信託証券への投資は行いません。</p>	
決算日	毎年12月31日	
信託報酬等	<p>純資産総額に対して年率0.77%</p> <p>※年間最低報酬額等がかかる場合は、純資産総額等により年率換算で上記の信託報酬率を上回ることがあります。</p> <p>※上記のほか、投資信託証券の設立・開示に関する費用等（監査費用、弁護士費用等）、管理報酬、売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等がかかります。</p>	
申込・解約手数料	ありません。	
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アジア リミテッド	

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の名称及びその運用会社の名称等は今後変更となる場合があります。

## ■包括利益計算書

(2017年1月1日から2017年12月31日まで)  
アメリカドル

収益	
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産・負債に係る純利益／損失 (△)	38,331,806
為替差損益	△ 75,097
その他収益	—
<b>収益合計</b>	<b>38,256,709</b>
費用	
支払利息	△ 276
投資運用報酬	△ 2,163,184
投資運用報酬 払戻料	161,362
管理報酬	△ 126,420
監査報酬	△ 46,872
保管報酬	△ 50,477
名義書換費用	△ 17,628
取引費用	△ 8,273
受託者報酬	△ 28,093
その他営業費用	△ 84,739
<b>営業費用合計</b>	<b>△ 2,364,600</b>
税引前・分配前利益 (損失)	35,892,109
税金	—
税引後・分配前利益 (損失)	35,892,109
分配金	△ 43,658,222
税引後・分配後利益 (損失)	△ 7,766,113
営業活動による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少	△ 7,766,113

投資信託証券「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の財務諸表の一部を委託会社にて抜粋・翻訳したものです。

## ■組入上位銘柄

(2017年12月31日現在)

銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	純資産構成比
Kwg Property Holding Limited 8.975% 14-jan-2019	中国	8.975%	2019/01/14	2.5%
Huachen Energy Co. Ltd. 6.625% 18-may-2020	中国	6.625%	2020/05/18	2.3%
Shui On Development (holding) Ltd. 9.625% 10-jun-2019	中国	9.625%	2019/06/10	2.3%
China See Property Holdings Ltd. 10.0% 02-jul-2020	中国	10.000%	2020/07/02	2.2%
Macquarie Bank Limited 6.125% Perp	オーストラリア	6.125%	永久債	2.1%
Chong Hing Bank Limited 6.5% Perp	中国	6.500%	永久債	2.1%
Golden Legacy Pte Ltd. 8.25% 07-jun-2021	インドネシア	8.250%	2021/06/07	2.1%
Pb International Bv 7.625% 26-jan-2022	インドネシア	7.625%	2022/01/26	2.0%
China Evergrande Group 8.75% 28-jun-2025	中国	8.750%	2025/06/28	2.0%
Country Garden Holdings Co. Ltd. 7.25% 04-apr-2021	中国	7.250%	2021/04/04	1.9%

「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用会社である日興アセットマネジメント アジア リミテッドが作成したデータを、委託会社にて翻訳したものです。